企　画　・　デ　ー　タ　ヘ　ル　ス　推　進　グ　ル　ー　プ

1　第２期健康寿命延伸プロジェクト事業の推進

予　算　額　　６８，５１６千円

決　算　額　　５１，９７５千円

(1)　オール大阪による健康づくり推進事業

①　府民の健康づくり気運醸成事業

予　算　額　　４，９８３千円

決　算　額　　１，６９２千円

コロナ禍でも自宅でできる健康づくりの取組み情報（市町村等の体操動画、ウォーキングサイト、健康レシピ等）をまとめた「おうちで健活」サイトを公開した。

またSNSを活用し、公式アカウントでの情報発信を行うほか、健康づくりの実践を促すキャンペーンを展開し、投稿写真で制作した“みんなで健活１０”動画の放映を行った。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| キャンペーン名（期間） | キャンペーン概要 | Twitter | Instagram |
| ひろげる「健活10」キャンペーン（8/7～8/21） | 公式SNSアカウントのリツイート等で健活応援グッズをプレゼント（参加者の中から抽選） | 参加者数1,028人 | 参加者数328人 |
| みんなで「健活10」キャンペーン（9/1～10/18、10/19～11/30） | ハッシュタグ「#おーさか新健康生活」をつけた写真の投稿で健活グッズをプレゼント | 投稿数247 | 投稿数407 |

※当初、府や市町村、企業等が主催する健康イベントを集約した冊子及びWebページの制作を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大によりイベント開催が困難な状況となったことから、事業内容を変更して実施した。

②　健活おおさか推進府民会議関連事業　（事務事業の見直しにより休止）

予　算　額　　―　　円

決　算　額　　―　　円

企業、保健医療関係者、医療保険者、市町村等、多様な主体との連携・協働を通して事業を展開し、オール大阪での健康づくりの気運醸成を推進するもの。

（参考：令和元年度実施実績）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 「健活おおさか推進府民会議」の設置・開催 | ・7月に「健活おおさか推進府民会議」を設置、以降企業や保健医療関係団体等を中心に参画を呼びかけ、114団体が入会・9月13日にキックオフ会議を開催（日本健康会議との共催）、厚生労働省や経済産業省、専門医からの講演のほか、首長や企業代表者等からの取組み事例発表等を行い、約800人が来場 |

③　府政だよりによる啓発事業

予　算　額　　４，８００千円

決　算　額　　４，０００千円

府民の健康課題や健康づくりの重要性を広く発信し啓発するため、府政だより９月号に「健活10（食／運動／歯と口等）、フレイル」について掲載した。

 (2)　健康キャンパス・プロジェクト事業（若い世代の健康づくり推進事業）

予　算　額　　１，２２０千円

決　算　額　　　　　　０千円

府内大学と連携し、各大学の健康課題等を踏まえたテーマで健康セミナー等を実施することで、若い世代の健康意識の向上を図るもの。

なお、令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため連携取組みを中止した。

（参考：令和元年度実施実績）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施場所 | 実施内容 | 参加者数等 |
| 大阪大学 | ヘルスリテラシー向上講座（食・喫煙・がん）（11/27） | 約80名 |
| 食堂でのV.O.S.メニュー提供（8/1～8/31） | ― |
| 大阪府立大学 | 喫煙対策セミナー（12/3） | 約30名 |
| 関西大学 | 産学官連携ヘルシーメニュー開発・販売（11/13～11/26） | 約500食 |
| 近畿大学 | ヘルスリテラシー向上講座（歯・食・運動）(12/12) | 約70名 |
| 摂南大学 | 食堂でのV.O.S.メニュー提供（10/21、23、24） | 約130食 |
| 立命館大学 | 食と栄養セミナー&料理教室（11/15） | 延べ約50名 |
| お口の健康セミナー&チェック（11/28） | 延べ約60名 |
| 大阪教育大学 | 食と栄養セミナー（1/29） | 約100名 |
| 大阪市立大学 | がんセミナー&子宮頸がん検診（12/23） | 24名・28名 |
| 関西外国語大学 | 喫煙対策セミナー（5/29） | 約830名 |
| 桃山学院大学 | がんセミナー（10/17）&子宮頸がん検診（10/18） | 約120名・38名 |
| 喫煙対策セミナー（11/29） | 約250名 |

(3)　中小企業の健康づくり推進事業

予　算　額　１１，２３０千円

決　算　額　　９，４８３千円

府内中小企業（主に製造業）を対象に、職場における健康経営に係る取組みを支援するために、健康経営の解説や取組み事例紹介の動画を作成し、普及啓発を行った。

また、職場の健康管理などに関する「健康経営セミナー」をオンラインで開催するとともに、職場で健康づくりに取り組んでいる企業が取組内容を動画で発信し、府民投票で大賞・特別賞を決定する「職場で健活10」大賞を実施し、健康経営の普及啓発と府民の健康づくりへの関心向上を図った。

また、府民を対象に、健康課題に応じたテーマを設けた「健活OSAKAセミナー」をオンラインで開催し、府民の健康づくりへの関心向上を図った。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 健康経営啓発動画 | ４つの解説動画と５社の事例紹介動画を作成し、健活10ポータルサイトで公開 |
| 健康経営セミナー | オンラインセミナー３回開催　開催テーマ等詳細は下記参照 |
| 「職場で健活10」大賞 | 大賞１団体・特別賞４団体を表彰（応募団体数８団体） |
| 健活OSAKAセミナー | オンラインセミナー７回開催　開催テーマ等詳細は下記参照 |

健康経営セミナー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日付 | テーマ | ライブ配信(視聴者数) |
| 第１回(10/29) | ・今なぜ健康経営が求められるのか・今すべき職場の感染予防対策 | 383 |
| 第２回(2/5) | ・Withコロナ時代の健康経営・医療に過度な依存をしない企業のメンタル対応 | 254 |
| 第３回(3/4) | ・企業における健康経営の取組・企業の取組事例発表 | 171 |

健活OSAKAセミナー

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日付 | テーマ | ライブ配信(視聴者数) | 録画配信(延べ視聴者数) |
| 第１回(11/21) | 眠って元気に | 97 | 1,343 |
| 第２回(12/4) | おいしく食べて体メンテナンス | 217 | - |
| 第３回(12/11) | 月経トラブル・子宮の病気 | 55 | 591 |
| 第４回(12/12) | 防ぎたい・見つけたいあなたのための乳がん予防 | 65 | 448 |
| 第５回(1/20) | すべては腸の健康から | 91 | 1,660 |
| 第６回(2/17) | フレイル予防で健康寿命を延ばそう！ | 69 | 1,073 |
| 第７回(3/13) | コロナに負けないメンタルの養い方 | 50 | 930 |

(4)　女性の健康づくり推進

　①　女性のための健活セミナー事業　（事務事業の見直しにより休止）

予　算　額　　―　　円

決　算　額　　―　　円

　　働く女性を対象に、女性特有の健康課題を踏まえたテーマ（乳がん、食事、メンタルヘルス等）で、セミナーを開催し、女性の健康関心度の向上を図るもの。

（参考：令和元年度実施実績）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施場所（日程） | テーマ | 参加者数 |
| グランフロント大阪（8/23） | ・子宮について学ぼう・体の元気は食事から | 143人 |
| あべのハルカス（9/6） | ・こころを元気に！働く女性のメンタルヘルス・気になる女性の乳がん | 150人 |
| グランフロント大阪（9/18） | ・今すぐ身につけたい！健康的な運動と食事・睡眠と健康 ～すいみんを知る～ | 127人 |
| あべのハルカス（10/9） | ・腸からキレイな女性になる！・体の元気は食事から  | 135人 |
| グランフロント大阪（11/18） | ・気になる乳がん・今すぐ身につけたい！健康的な運動と食事 | 110人 |

　②　乳がん検診受診率向上モデル事業　（事務事業の見直しにより休止）

予　算　額　　―　　円

決　算　額　　―　　円

　　府民の乳がん検診の受診率向上に向けて、気軽に検診を受診してもらう機会を創出するため、大型商業施設へ乳がん検診車を派遣し、近隣市町村の住民を対象とした乳がん検診を実施するもの。

（参考：令和元年度実施実績）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施時期 | 実施場所 | 検診受診者数 |
| 10/31 | イオンモール日根野（泉佐野市） | 60人 |
| 11/5 | イオンモールりんくう泉南（泉南市） | 60人 |

(5)　健康格差の解決プログラム促進事業

予　算　額　４６，２８３千円

決　算　額　３６，８００千円

①　健康受診行動との関連性を検証し、層別化した対象へ効果的なアプローチ方法・内容についての

解析及びデータベースを整理した。（委託先：大阪大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| AIを活用した受診率向上対策支援ツールの開発 | データを用いて健康診断受診を予測するAIモデルを構築するための特徴量の分析 |

　②　保健師等に対して研修及び意見交換会を実施し、保健師の指導力向上による特定保健指導の実施

率向上及びより効果的な保健指導の実施のための支援ツールを開発した。（委託先：大阪大学）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| 保健指導に必要な知識の習得のための研修（ワーキング） | ＊市町村向け【回数（日時）】3回（①6月25日、②12月22日、③2月19日）【場所】大阪大学中之島センター（大阪市）　　　　オンライン、オンデマンド【参加人数・市町村数】371人（①123人・36市町村、②117人・33市町村、③131人・37市町村）＊保健所向け【回数（日時）】1回（10月26日）【場所】大阪大学中之島センター（大阪市）【参加人数】34名 |
| モデル市町村による検証事業（研修会） | 【回数（日時）】4回①7月20日、②1月22日、③2月5日、④2月10日【場所】①大阪大学中之島センター（大阪市）②④大阪大学からライブ配信③阪南市立保健センター【参加人数】42名（①18名、②14名、③5名、④5名）【モデル市町村数】7市町村 |
| ツール等によるプログラム（暫定版）の開発 | 下記５つのツール等によるプログラム（暫定版）の開発・保健指導優先度判定ツール・健診結果帳票作成ツール・保健指導リスク評価ツール・保健指導資料集・保健指導記録表入力ツール |

　③　働く世代からのフレイル予防の取組みを府内市町村で展開するため、研修会の実施やプログラムおよびツールを作成、配付した。あわせて働く世代からのフレイル予防について府民への周知を行った。（委託先：国立医薬基盤・健康・栄養研究所）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組み | 概要 |
| フレイル導入支援 | ＜研修＞市町村保健事業担当者等に対して研修会を実施【回数（日時）】１回（7月13日）【場所】大阪赤十字会館【参加人数】74人 |
| ＜導入＞市町村の既存事業にフレイルチェックを導入【回数（日時）】1回 ２月24日【場所】寝屋川市立保健福祉センター【参加人数】５人 |
| ＜ツール等の作成＞大阪府働く世代からのフレイル予防プログラム2020年版、フレイル複写式問診票・フレイルチェックフォーム、リーフレット改訂版の作成と配付 |
| フレイル状況の調査 | アスマイルユーザーに対し、アンケート機能を活用して調査を実施（回答17,974人） |
| フレイル啓発 | 【回数（日時）】２回（①９月１日、②２月17日）【内容】①府政だより９月号②健活OSAKAセミナー：ライブ配信視聴者69人、録画視聴回数1,073人 |

2　健康づくりに関する連携体制の整備

(1)　健活おおさか推進事業

 予　算　額　２００千円

決　算　額　２００千円

大阪府健康増進計画に掲げる目標達成に向けた府民の健康づくりを推進するため、健康づくり推進条例に基づき設置した「健活おおさか推進府民会議」を軸として、健康づくりに関わる団体と連携・協働して健康づくりの気運醸成を図った。

(2)　地域・職域連携推進事業

 予　算　額　３，７５７千円

決　算　額　　　４５３千円

生涯を通じた健康づくりを支援するため、行政、事業者、医療保険者等の関係機関による「地域職域連携推進協議会」を運営し、「第３次大阪府健康増進計画」に関する進捗報告を行った。

地域特有の課題については、保健所圏域地域・職域連携推進事業において検討し、関係機関との連携を図りつつ、対策を推進した。

※新型コロナウイルス感染拡大により、当初予定していた計画を縮小及び変更して実施した。

(3)　地域医療連携事業

予　算　額　３，３６５千円

決　算　額　　　４７３千円

地域において、複数の医療機関が疾患別に形成する診療ネットワークにより、二次医療圏における脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病について地域特性に応じた医療連携体制の充実を図った。

※新型コロナウイルス感染拡大により、当初予定していた計画を縮小及び変更して実施した。

(4)　精度管理基礎調査

 予　算　額　５，４１４千円

決　算　額　５，４１４千円

府内における検診を円滑に推進するため、特定健康診査等の健康診査及び子宮がん検診における検診実施機関、検査機関の検診精度管理調査を（一社）大阪府医師会に委託して実施した。

3　循環器疾患の予防対策（（公財）大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター委託）

予　算　額　１０２，９１４千円

決　算　額　１０２，９１４千円

(1)　市町村国民健康保険、後期高齢者医療制度の医療費データ及び市町村国民健康保険における特定健診・特定保健指導データ、協会けんぽ大阪支部の特定健診データから医療費及び疾病の構造分析を行った。

(2)　市町村における保健事業を効果的に進めるため、汎用性の高い行動変容プログラムの改修、データを活用した保健事業の創出と事例収集、保健従事者等に対する研修会の開催を通じ、技術的支援を行った。

(3)　特定集団の健康状況に係るデータを追跡・調査し、蓄積されたデータに基づき、循環器疾患の予防対策に活用した。

(4)　府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能として、循環器疾患の予防に関する情報発信等を行った。

4　健康増進事業の促進

予　算　額　　３０５，２０４千円

決　算　額　　２４７，７３８千円

　市町村が実施する健康増進事業に要する経費について、所要の補助金を交付した。

○根拠法令等

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　健康増進法第１７条、第１９条の２